

平成 20 年 10 月 14 日

ご投資家の皆様へ

T&D アセットマネジメント株式会社

世界金融市場の状況と10月10日の弊社投資信託の基準価額 への影響について

足許の市場動向

米欧の金融危機拡大による世界経済の悪化懸念から株式市場は悲観論一色となり、売りが売りを呼ぶ展開となっており、世界株安の連鎖に歯止めがかからない状況となっています。

10月9日のニューヨーク株式市場は大幅続落となりました。米国の大手新聞社などが米財務省による米銀への公的資金注入を検討していると報道していたことから、寄り付き直後は期待感を受け買いが優勢となりましたが、市場の疑心暗鬼は変わらず、空売り規制が解除されたこともあり、金融セクターとエネルギーセクターの下落が全体的な相場の下落を牽引する形で徐々に売り優勢となりました。さらに、格付会社スタンダードアンドプアーズによる GM（ゼネラルモーターズ）やその金融子会社である GMAC の格下げ検討などを受け、引けにかけて急落し、前日比 678 ドル安（▲7.3%）の 8,579 ドルと 2003 年 5 月 27 日以来の安値水準で終了しました。S&P500 指数も前日比 75 ポイント安（▲7.6%）の 909 ポイントと 2003 年 5 月 1 日以来の水準で安値引けとなりました。

10月10日の東京株式市場においても、前日のニューヨーク株式市場の下落や、為替市場で一時 1 ドル 97 円台をつけるなどの急速な円高の進行を受けて、パニック的な売りで朝方から全面安となり、情報通信、保険、医薬などの業種を中心に大幅に下落しました。先物にも機関投資家の売りが殺到し、東京、大阪証券取引所は取引開始直後に株価指数先物の取引を中断する措置を取りました。株価は 8 日に続いて暴落し、日経平均株価は前日比 881 円安（▲9.6%）の 8,276 円、TOPIX は 64 ポイント安（▲7.1%）840 ポイントまで下落しました。

また、アジアの他の主要市場においても、香港市場のハンセン指数が前日比▲7.2%、韓国総合株価指数が同▲4.1%、シンガポール市場のシンガポール ST 指数が同▲6.5%、中国の上海総合指数は▲3.6%と、そろって急落しました。（台湾市場は祝日で休場。）

一方、国内債券市場では、銀行などの資金調達への不安や海外投資家のレバレッジ（借り入れなどで元本を膨らませた投資）解消による債券売却の動きから、東証 10 年国債先物の中心限月は終値 137.35 円で前日比 1.11 円下落し、10 年国債利回りは 1.525%と前日比 0.06%上昇（価格は低下）しました。

今後の見通し

景気は、内外ともに今後さらに厳しさを増すとみています。米国では、雇用の鈍化、住宅価格の下落などから個人消費のさらなる減速が見込まれ、外需についても新興国経済に変調がみられており、全体として減速感が強まると考えます。また、足許の金融システム不安再燃による信用スプレッドの拡大などの金融環境の悪化がさらに景気の下押し圧力となる可能性が強まっています。日本でも雇用の伸び悩みなどから内需に力強さがみられず、外需の牽引力も低下が予測されることから、景気の減速感が強まるとみています。

こうした厳しい経済環境の下で、内外の株式市場は当面下値を模索する動きが続くものとみています。これまでの株価下落を受けて、PER、PBR、配当利回り等の一般的なバリュエーション指標には割安感も出始めていますが、景気悪化リスクが一段と高まるなか、企業収益への下押し圧力が強まっていること、金融不安がくすぶるなかで投資家のリスク回避姿勢が強まっていることから、当面こうしたバリュエーション指標が十分に機能しない可能性が高いとみています。

債券市場は、内外ともに景気下ぶれリスクが意識されやすい環境のもとで、金利低下基調が継続するとみています。

また、為替については、米国での金融不安、景気失速懸念が残るなかで追加利下げ期待の高まりや投資家のリスク回避姿勢の強まりから、緩やかな円高ドル安傾向を予測しています。

なお、「今後の見通し」の詳細に関しましては、弊社ホームページ掲載の「投資環境レポート」をご参照ください。

以上

当社ファンドへの影響

ファンド名	平成 20 年 10 月 9 日 基準価額 (円)	平成 20 年 10 月 10 日 基準価額 (円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
システム・オープン	4,229	3,964	▲ 265	▲ 6.27
GAMMA ジャパン・グロース・ファンド	4,004	3,766	▲ 238	▲ 5.94
アクティブ・ハリュー・オープン	10,310	9,716	▲ 594	▲ 5.76
大同リサーチ&アクティブ・オープン	6,430	5,998	▲ 432	▲ 6.72
DC アクティブ・ハリュー・オープン	16,543	15,584	▲ 959	▲ 5.8
世界優良株ファンド(3ヵ月決算型)	6,076	5,706	▲ 370	▲ 6.09
世界優良株ファンド(毎月決算型)	6,748	6,339	▲ 409	▲ 6.06
世界優良株ファンド(ラップ向け)	6,362	5,986	▲ 376	▲ 5.91

市況情報

	平成 20 年 10 月 8 日	平成 20 年 10 月 9 日	騰落率(%)
NY ダウ工業株 30 種	9,258.1	8,579.19	▲ 7.33
S&P 500	984.94	909.92	▲ 7.62
ドイツ DAX 指数	5,013.62	4887	▲ 2.53
フランス CAC40 指数	3,496.89	3,442.7	▲ 1.55
FT100 指数	4,366.69	4,313.8	▲ 1.21

海外の市場については基準価額への影響を考慮し、10 月 8 日から 10 月 9 日としています。

	平成 20 年 10 月 9 日	平成 20 年 10 月 10 日	騰落率(%)
TOPIX (東証株価指数)	905.11	840.86	▲ 7.1
債券先物直近限月	138.46	137.35	▲ 0.8
米国ドル(*)	99.98	99.12	▲ 0.86
ユーロ(*)	135.78	134.34	▲ 1.06

(*) 為替レートは三菱東京 UFJ 銀行の対顧客公示相場の仲値

出所:ブルームバーグ

文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。海外株式市場のデータは基準価額への反映を考慮して1営業日前のものを使用しています。

本資料はご投資家の皆様に T&D アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

投資信託のお申込に際してのご留意事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全てご投資家の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

投資信託に係る費用について

【お客様には以下の費用をご負担いただきます】

ご購入時に直接ご負担いただく費用

お申込手数料・・・上限 3.15%（税込）

保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬・・・上限 1.995%（税込）

その他費用・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

ご換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額・・・上限 0.5%

当該手数料等の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。

（ご注意）

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&D アセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■ 当社の概要

商 号：T&Dアセットマネジメント株式会社

登録番号：金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 357 号

加入協会：（社）投資信託協会 （社）日本証券投資顧問業協会